

活動組織

・総 会 開 催 :年 1 回

メンバー :大学・機関研究者、幹事会員、一般会員、財団

連携機関 埼玉県、本庄市、都市再生機構、埼玉経済同友会

埼玉県経営者協会

後援機関 関東経済産業局、東日本旅客鉄道株式会社

財団賛助会員

事業計画、予算、各種講演会等

・運営委員会 開 催 :月 1 回程度

メンバー :大学・機関研究者、幹事会員、財団

個別WGの取り組みの立案・承認

個別WGの運営方法協議

個別WGの評価

補助金、助成金の獲得

・個別 WG 開 催 :適時

メンバー :大学・機関研究者、幹事会員、一般会員、財団

財団賛助会員

個別WGへは複数の参加可能

(別添参加申込書にご記入ください)

取り組み内容の検討

事務局

・(財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構

・役割:運営事務、連絡調整、外部資金獲得、実証・実施支援、事業化支援

2011 年事業計画

①個別WGの設置

構成: 参加企業より委員、大学、事務局により構成

スマートハウスWG

・共有インフラ、共通インフラの仕様の検討

共有インフラ: 地中熱システム、超小型EV・ULV(カーシェアリング)

共通インフラ: 太陽光パネル、蓄電池、太陽熱集熱器、スマートメーター、HEMS情報端末 等

・事業化の方策の検討

商業施設WG

・商業施設の設備、取り組み内容の検討

交通システムWG

・交通システムの取り組み内容検討

当面は、スマートハウスWGと連携した住宅におけるカーシェアリングシステムの設計。

エリア全体での交通システムの具体化(人の動線、公共交通との連携、EV 充電インフラ等)

バイオマスWG

・エリアにおけるバイオマスの利活用方策の具体化

埼玉県環境部との連携(秩父市から産出される木質バイオマスの利活用)

周辺地域におけるバイオマス原料の発生量とその活用方策の具体化(農業系、畜産系、厨芥類等)

クラスター拡張型スマートグリッドWG

・大学キャンパスにおける実証試験の検討

②本庄スマートエネルギータウンフォーラムの開催(10月)

・個別WGによる取り組み

・まちづくりの全体像

・情報発信

③参加企業の獲得

④広報・宣伝活動